

★毎週日曜よる9時放送 TBS 日曜劇場『御上先生（みかみせんせい）』 イベント参加★



TBSで毎週日曜よる9時に放送されている日曜劇場『御上先生』は、高校教師となった東大卒のエリート文部科学省官僚・御上孝（松坂桃李さん）が、私立隣徳学院3年2組の高校生たちを導きながら、権力や現実に向かい合う“大逆転教育再生ストーリー”です。

もちろん、『TVドラマ』ですから『エンタメ』として楽しめるわけですが、『学校教育監修』を務めている**工藤勇一氏**は、元麹町中学校校長、元横浜創英中学・高等学校校長であり、群馬県教育委員会が組織する『群馬県非認知教育専門家委員会』のメンバーでいらっしゃいます。また、本校のSAH講演会で2回に渡り講演をいただいた**中山芳一先生**は、このドラマの『教育監修』を務めていらっしゃいます。ご存じのとおり中山先生は『非認知能力育成研究の第一人者』でいらっしゃいます。また、同じく『教育監修』を担当されている**西岡孝誠氏**は『現役東大生』でありながら『株式会社カルペディエム代表』として数多くの本の出版や講演会を行っていらっしゃるだけでなく、大人気のTBSの日曜劇場『ドラゴン桜』の監修をされていた方なのです！ドラマのなかで松坂さんが数式を解説する場面がありますが、これは同じく『教育監修』を務めている現役東大生である株式会社カルペディエムの**亀田峻氏**の『監修』によるものです。この4名のお名前はエンディングロールでご覧になれますので、よろしければご確認ください！



『教育監修』を担当されている**西岡孝誠氏**は『現役東大生』でありながら『株式会社カルペディエム代表』として数多くの本の出版や講演会を行っていらっしゃるだけでなく、大人気のTBSの日曜劇場『ドラゴン桜』の監修をされていた方なのです！ドラマのなかで松坂さんが数式を解説する場面がありますが、これは同じく『教育監修』を務めている現役東大生である株式会社カルペディエムの**亀田峻氏**の『監修』によるものです。この4名のお名前はエンディングロールでご覧になれますので、よろしければご確認ください！

このような方々が『監修』しているドラマですから『実際の学校現場』の『最前線』をテーマにしているドラマなのです！よって本校が取り組んでいる『SAH』にも密接に関わるドラマであり、『生徒の主体性の育成』や『非認知能力の育成』も密接に関わっていると言えます！私は毎週メモを取りながら何度も見返し、楽しんでおります！みなさんはドラマをご覧になっているでしょうか？

そんなドラマのイベントを観覧できる機会を中山先生からいただき、こんな機会はめったにない！ということで参加してきました！その様子をまとめさせていただきましたので、よろしければご一読いただき、SAHの参考にさせていただければ幸いです！（教頭 星野 亨）

★『第一部』TBS 完全主催★『御上先生』イベント@TBS Tech Design X (2/8 土 13:00-14:30)

<登壇者> **工藤勇一氏**（『御上先生』学校教育監修・元麹町中学校校長・元横浜創英高校校長）
白井智子氏（ひるおび金曜コメンテーター・日本の教育分野における社会起業家・株式会社こども政策シンクタンク代表取締役）
中山芳一氏（教育監修・元岡山大学准教授・IPU 環太平洋大学特命教授・合同会社 ALL HEROs 代表）
MC：蓮見孝之 TBS アナウンサー

<トークセッション> 『御上先生』が描く「日本の教育制度と課題について」
<ディスカッション> 『御上先生』に描かれる学習シーンと教育現場の現状とは？



TBSの蓮見アナウンサーのMCで行われた**工藤氏・白井氏・中山氏**のトークセッション&ディスカッションは最高でした！『学校教育監修』を務めている**工藤氏**、『教育監修』を務めている**中山氏**がどのようなねらいをもってこのドラマに携わっているのかを直接伺うことができました！この場に**西岡氏**も出演して欲しかったと思いましたが、中山先生のコメントのなかで**西岡氏**のことが出てきます。中山先生と**西岡氏**の関係性もよくわかるコメントでした！

麹町中学校や横浜創英高校で校長をしていた**工藤氏**の『生徒の主体性』に関するお話や『松坂桃李さんが演ずる御上先生の指導の様子』の解説についてはぜひYouTubeを見ていただきたいと思います！また、中山先生の『Rebuild』と『Innovation』のお話も是非YouTubeでご覧ください！白井氏からは、『御上先生』が常に生徒に投げかける『考えて！』という台詞がすべてであり、私たちにとっても向けられているコトバであるとおっしゃっていました！

最後に質問コーナーがあり、勇気を出して質問してみました！自称「前南の宣伝部長」として学校名をあげ、質問させていただきました！どさくさに紛れ『本校ではInnovationが進んでいる！』ということを発言させていただきました！どこかにつながり、本校の広報になれば幸いです！また、中山先生にご推薦いただき、イベントの終わりにインタビューも受けさせていただきました、なんと『ひるおび』に取り上げていただきました！ここでも学校名を挙げたのですが、そこは残念ながらカット！笑 今後も群馬県民だけでなく、全国に前南の宣伝ができるようがんばります！詳しくは下のリンクからYouTubeで動画、または、株式会社カルペディエムの記事をご覧ください！



蓮見アナとパシャリ



イベント中の画像は下のURLをクリックしてください！



「ひるおび」のインタビュー！

<TBSのYouTubeで当日の様子を動画で見られます！> [URL をクリック！https://m.youtube.com/watch?v=z_POj4QNISs](https://m.youtube.com/watch?v=z_POj4QNISs)

<株式会社カルペディエムの記事で読めます！>

→URL をクリック！[https://carpe-di-em.jp/media/9136?fbclid=IwZXh0bG9hZmVudC9136&fbclid=IwZXh0bG9hZmVudC9136](https://carpe-di-em.jp/media/9136?fbclid=IwZXh0bG9hZmVudC9136?fbclid=IwZXh0bG9hZmVudC9136&fbclid=IwZXh0bG9hZmVudC9136)



★『第二部』株式会社カルペディエム主催・合同会社 ALL HEROs 共催★『御上先生 vs 現場の先生』

TBS日曜劇場『御上先生』監修者 西岡吉誠 & 中山芳一 Presents!!

御上先生 vs 現場の先生

全国各地の現役教師は、いま話題の『御上先生』をどう見ているのか?!

と き: 2025年2月8日(土) 16時00分~17時30分
※15時45分開場

と ころ: 味覚館UHA館TKP溜池山王カンファレンスセンター
カンファレンスルーム4A(東京都港区赤坂2-12-13 UHA味覚館赤坂ビル4階)

参加費は、無料です。お申し込みは以下から、2月7日(金)までに!

— 登壇者 (後編) —

●『御上先生』監修者
西岡吉誠(カルペディエム代表)
中山芳一(ALL HEROs代表)

●高校教師チーム
有岡佳祐(岡山/数学)
沖村智彦(広島/社会)
尾関日菜子(大阪/吹奏楽/英語)
宮村新奈(滋賀/産業/家庭科)

●中学教師チーム
松島直樹(埼玉/体育)
矢野光博(和歌山/理科)
山元五葉(奈良/英語/国語)

主催: カルペディエム株式会社 / 共催: ALL HEROs 合同会社
お申込 & お問合先: info@allheros.jp

<登壇者> 西岡吉誠氏 (『御上先生』教育監修・株式会社カルペディエム代表・現役東大生・『ドラゴン桜』監修) 中山芳一氏 (教育監修・元岡山大学准教授・IPU 環太平洋大学特命教授・合同会社 ALL HEROs 代表) 岡山・広島・大阪・滋賀の高校教師4名+埼玉・和歌山・奈良の中学教師3名

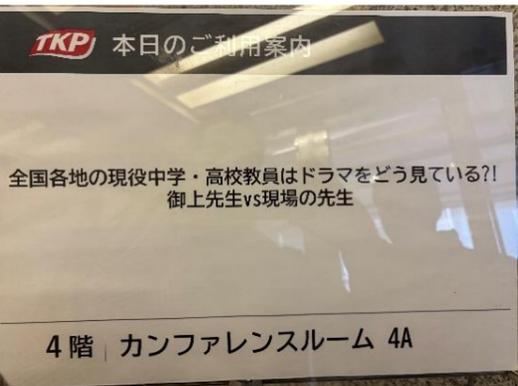
<トークテーマ>…ドラマのなかで出てきた台詞などからトークテーマが設定されました!

- ①生徒たちに「考えて」と言いたくなる実際の場面は?…御上先生の台詞より
- ②実際にオススメの「新しい学び方」はありますか?…ドラマで紹介された「アクティブリコール」から
- ③「いついかなるときでも集中しなければならない仕事ばかりだよ」と生徒たちに言う?…御上先生の台詞より
- ④生徒の「べつに」を異なる言葉へ引き出す働きかけは?…神崎くんの台詞「べつに」から本音を引き出す手法
- ⑤生徒たちがなんでも意見を言える授業、どうすればできる?…3年2組の生徒たちの変容
- ⑥独自の教材は使えない? & 中学校の学習指導要領は本当に難しい?…東雲さんの父の問題より
- ⑦学校のスローガンを生徒たちだけでなく教師たちも実行できている?…御上先生の台詞より
- ⑧あなたにとっての「エリート教育」とはどんな教育?…御上先生の台詞より

西岡吉誠氏のキレキレ解説!



中山芳一先生の軽快なMC!



参加者からの熱い発表!



7名の登壇者からの実践者としての発表!



こちらは教育監修の西岡吉誠氏の経営する株式会社カルペディエムさんと中山芳一先生の合同会社 ALL HEROs さんの共催のイベントでした! 登壇者は広島・岡山・大阪・奈良・滋賀・和歌山・埼玉の先生方! 中山先生の軽快なMCを軸にドラマのなかから選ばれた8つのトークテーマについて現場の7名の先生方が発表し、西岡吉誠氏がまとめるという形式でした!

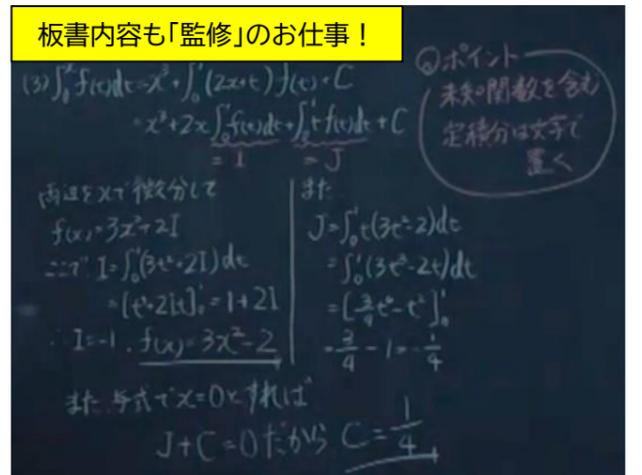
トークテーマ②ではドラマ内で紹介された『アクティブリコール』という学習法の他に現場の先生方が用いている有効な学習法が紹介されたり、③の松坂桃李さん演じる御上先生の生徒に向けての台詞『いついかなるときでも集中しなければならない仕事だよ』というコトバから、『受験生なのだからすべてを排除して集中して取り組まなきゃいけない時期だ』と訴える生徒に『そんな甘いことを言っているのは社会では通用しない』と告げる御上先生に対する意見等が出されました。

ケビン・カーター氏撮影の「ハゲタカと少女」



④では新聞部の神崎くんが「自分には関係ない」という意味で放った『べつに…』という台詞に対し、彼の本音を引き出すために御上先生がとった一手がケビン・カーターが撮影した『ハゲタカと少女』のお話だったという解説を聞き、私自身が驚愕してしまいました! 教師が直接『自分の意見を言いなさい!』『自分事として考えなさい!』というダイレクトな台詞を言ったところではまったく動かない青年心理をみごとに動かす御上先生の手法を現場の教師でもできるものなら取り入れたい!と感じた次第です! 御上先生の生徒を動かす技がすごいです!!!

板書内容も「監修」のお仕事!



⑦のテーマは御上先生が隣徳学園の職員室で『ここにいる先生方のなかで関係ないという方がいるんですか?』という台詞からのテーマですが、なんとMC中山先生が『ほしの先生お願いします!』と。私はほかにも星野先生がいるんだと後方を見ていると『前橋南のほしのせんせい』と中山先生。あわてて客席から起立し、本校のSAHのことに触れさせていただき、本校では生徒も職員も『当事者意識』をもって学校経営に参加しています!と断言させていただきました! 特に『グラデュエーションポリシー』の3つのキャッチフレーズ『もう、誰のせいにもしない!』『困難に負けない自分になる!』『「教わる」から「学ぶ」へ!』については生徒も、教員も日々胸に刻み、生活していると強調してきました! 笑 本校が一丸となって取り組んでいることを紹介できる機会を中山先生はあえて与えてくださったのだと思います! 中山先生、ありがとうございました!

ドラマ『御上先生』はただの学園ものではありません! 全国の先生方も注目しています! 実はグループディスカッションで一緒になり、知り合った若者は「文科省の官僚」の方でした! 笑 名刺を二度見してしまいました笑 実際、文科省の方々も注目しているのです! また「人材育成」という観点でご覧になる経営者もいるそうです! まだご覧になっていない方はぜひ!

<Yahoo 記事でイベントの様子が読めます!>

→URL をクリック! <https://news.yahoo.co.jp/articles/a88b1d516a8da7bfaaa3a3696924510bbeca4766>



★校長より★ TVドラマはフィクションです。ただし、ドラマを制作している方達は、その時代で問題や課題となっている事象に光を当てることがあります。特に学校関係のドラマではよくありますかね。かつて、私が中学生だったときには校内暴力や非行が大きな社会問題となっており、それが『3年B組金八先生』というドラマで取り上げられていました。今回も同様なことが起きているのかなと思っています。県の教育委員会の方から初めてSAHの話聞いた時、「横浜創英高等学校をモデルとする」ということでした。横浜創英高等学校は本文中にもありますようにこのドラマの学校教育監修を務めている工藤勇一先生が昨年度まで校長先生をしていた学校です。ここは会得する3つのコンピテンシーとして「自律・対話・創造」を挙げ、新しい教育を行っている学校です。一度、ホームページを見てみてください。教育監修の中山芳一先生は、皆さんもご存じのとおり、本校で昨年度、今年度と講演をさせていただきました。このような方達が全国に発信されるドラマの監修の中心となっていることを考えると、皆さんが取り組んでいるSAHは決して独りよがりで行っていることではなく、「日本の大きな流れの中で行われていることなのかな」と想像できますね。教育は時代で変化します。今の時代のまったただ中で行われていることに皆さんは取り組んでいます。

校長 原 拓史